

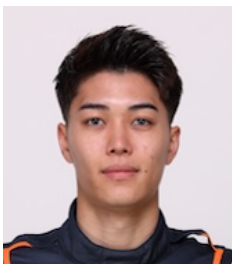


2024年5月4日

株式会社 GT アソシエーション  
FIA-F4 事務局

## FIA-F4 選手権 第2戦 決勝上位コメント

### ■ 第2戦 チャンピオンクラス優勝 森山 冬星【#62 HELM MOTORSPORTS F4】



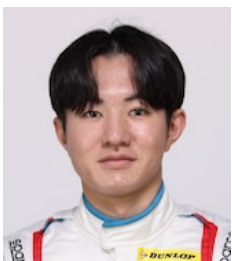
「去年苦しんだ分、今回の初優勝はとても嬉しいです。レース中、シフトアップがキャンセルされるトラブルが何度かあったものの、それ以外はクルマの調子も良く、プラン通りにレースができました。昨日（第1戦決勝）はノーポイントに終わってしまいましたが、今回ワークス勢（TGR-DC RSとHFDP Racing Team）が出なかったことでポイント差を取り返すことができましたし、マシンのフィーリング的にもチャンピオンを狙える手ごたえがあります。次の鈴鹿以降も優勝を目指し、しっかりと戦っていきたいです」

### ■ 第2戦 チャンピオンクラス2位 清水 啓伸【#34 Drago CORSE MCS4-24】



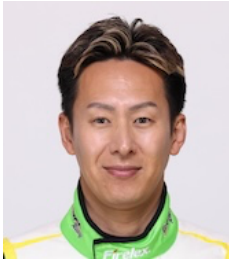
「初参戦の昨年は1ポイントも獲ることができませんでしたが、チームが変わった今年はシーズン前から結果が出せる体制だと感じていて、開幕戦から優勝を狙っていました。昨日（第1戦決勝）は出遅れてしまったスタートが今日改善できたのは良かったのですが、これまで後方争いしかしたことがなく、クルマのペースは良かったものの、その部分の経験不足が優勝に届かなかった原因かなと思います。クルマのペースが一番良かったと思います。ですから初表彰台は嬉しいですが、優勝したかったという気持ちの方が大きいです。次の鈴鹿は優勝できるよう頑張ります」

### ■ 第2戦 チャンピオンクラス3位 佐藤 樹【#33 Drago CORSE MCS4-24】



「スタートはうまく決まって順位を上げることができたのですが、クルマのバランスが悪く、その後のペースはまったくなかった。後方とは差が開いていたから良かったものの、接近されていたら守れていたかどうか危なかったですね。でも内容はともかく、開幕大会で表彰台に上がってシーズンの好スタートを切ることができました。まだまだ先は長いですが、もっと上を目指せるよう頑張ります」

■ 第2戦 インディペンデントクラス優勝 KENTARO 【#55 Baum Field F4】



「レーシングカーにはじめて乗ってからここまで2年半の間、仕事よりも遊びよりもレース活動を優先的にやってきたので、ここで結果を出すことができて良かったです。今シーズンは成長していることを実感していて、表彰台争いがしたいと思っていました。昨日の初戦はスタートでエンストしてしまい、後方から追上げたものの表彰台に1歩届きませんでした。今日はスタートもうまくいって優勝できたので非常に嬉しいです。コーチやチームに感謝したいと思います。一度だけでなく複数回勝てるよう、これからも頑張ります」

■ 第2戦 インディペンデントクラス2位 齋藤 真紀雄 【#96 CS マーケティング AKILAND】



「今回はマシントラブルで練習走行もあまり走れなかったし、予選でもまともにアタックすることができませんでした。その結果、最後尾からのスタートということで、スタートから”とにかく行くしかない”と考えて挑み、最後は KENTARO 選手に迫ることができたので良かったかなと思います。アクシデントもあったもののファステストもマークしたし、内容も悪くなかったと思います。ここまでランキング2位、3位ばかりなので、今年こそチャンピオンを獲りたいです」

■ 第2戦 インディペンデントクラス3位 小谷 素弘 【#5 TEAM 5ZIGEN F4】



「初参戦の最初の大会で表彰台というのは、まぐれだとしても嬉しいです。今回の2レースはとにかく、接触せずに完走して、レースに慣れることが目標でした。その中で順位がどんどん上がって行ってラッキーでした。今後も接触せずにしっかりと完走するレースを毎回やっていって、シーズン終盤に近づいていく中で徐々にトップ争いができるよう練習を重ねていきたいです」